

吉田信介先生への感謝のこぼ

山 根 繁

吉田信介先生に最初に直接お目にかかってお話ししたのは、1990年代半ば頃だったでしょうか、ある学会の懇親会の席であったように記憶しています。当時から、外国語教育学、とりわけICTを活用した英語教育の分野で名声をはせられていて、斯界で吉田先生を知らないような人は「もぐり」と言われるほど学会でも著名な先生でした。その後、大学英語教育学会（JACET）、外国語教育メディア学会（LET）の運営委員会などを通じて長年親しくして頂いておりました。

吉田先生が2006年に関西大学に着任されると伺った折には、学会の超大物で強力な人材が、外国語学部に加わって頂けることになり、たいへん有り難いと感じたことを覚えております。先生が在職中になされた関西大学や外国語学部における多大な貢献は、私がここでご紹介する必要が無いほど周知のことですが、学部長による「贈る言葉」の中でも詳述されていることでしょう。

吉田先生は外国語学部に大きな貢献をされました。

2009年4月、外国語学部が関西大学11番目の学部としてスタートする前から、SAプログラム開始に向け敏腕を振るわれました。ご出身は米国カンザス大学教育学部大学院ですが、同大学に併設されているAEC（Applied English Center）と緊密に連絡をとられて、同センターとの留学プログラム締結に尽力されました。カンザス大学留学の特色として、AECの学生は、各学期の最後にテストを受け、一定の基準を超えることが出来れば、カンザス大学学部の正規授業を取ることができるユニークなプログラムを組まれたのです。

2010年8月には、AEC側とさらに交渉を重ねるために1週間ほどカンザスへ赴かれましたが、その折、私もお供させて頂きました。吉田先生の日頃の行いが良かったお陰でしょうか、関西空港で、エコノミークラスの座席がオーバーブッキングの為、二人でビジネスクラスに無償でアップグレードしてもらうことができました。機内で先生とゆったりお話しができたことが楽しい思い出として残っております。カンザス到着後、吉田先生は、持ち前の交渉力を発揮され、現地スタッフとの打合せを見事にこなされていました。私はというと、ただ横に座って話を聞いていただけであったように思います。交渉の後は、広大なキャンパスを案内して頂きました。海外の留学経験のない私にとってはたいへん新鮮な経験になりました。吉田先生のご尽力のお陰で、外国語学部創設時からの提携校の一つであるカンザス大学は現在も、学生にたいへん人気のある留学先です。先生、今後とも外国語学部の発展をお見守りください。

吉田先生は学生指導、社会貢献にたいへん熱心な先生です。

先生のゼミでは長年、「途上国における開発援助の研究と、日台国際チームによる協働作業を通じて異文化理解力・外国語力・交渉力を習得するメカニズムの実証研究」をテーマとして教育・研究活動を行ってこられました。ゼミでは、台湾の大学とネットをつないで、上記のテーマなどをディスカッションしたり、コロナ禍の前までは、毎年、学生を台湾に引率して学生の指導にあたられました。先生のゼミは常に、外国語学部の人気ゼミのひとつです。

吉田ゼミは最近、千里山キャンパス第2学舎の不二家食堂とコラボし、日替わりメニューから1食につき一定額を、開発途上国の子どもたちへの給食提供のために寄付するというSDGs活動にも取り組まれています。先生ご本人も2003年に、国際協力機構（JICA）専門家としてパプアニューギニアに赴かれ「パプアニューギニアにおけるテレビ番組による授業改善計画プロジェクト」に参加されました。現地では、昆虫などもタンパク源として、普通に食したという武勇伝もうかがった覚えがあります。ちょっとワイルドな側面もお持ちの先生でもあります。今後とも、引き続き社会貢献を続けられることと存じます。

吉田先生は大学や学会の運営業務にたいへん熱心な先生です。

先生とは多くの委員会でご一緒させていただきました。どの委員会でも積極的に発言され、いつも建設的な意見をおっしゃるのが印象として残っております。私が座長を務めていました「外国語学部創設10周年記念行事実行委員会」でも委員として大いに助けて頂きました。同委員会で、卒業生の同窓会組織の立ち上げに向けてご尽力されましたが、当時まだ創設10年余りの外国語学部としては、今後の課題として残っています。ご退職後も引き続き、折に触れご助言を賜りますようお願い致します。

先生はご研究活動の傍ら、関西英語教育学会（KELES）では会長としてリーダーシップを発揮され、その他多くの学会でも理事、事務局長などの要職を歴任されました。学内では、関西大学外国語教育学会で2015年より会長を務められています。今後とも、様々な学会で「名誉会長」としてご活躍されることを祈念しております。

改めまして、吉田先生、長きにわたって有り難うございました。そして、今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。